

2月11日は建国記念の日です。日本書紀では第一代天皇の神武天皇が即位したとされている日でもあり、天皇陛下は奈良県橿原市にある橿原神宮



名古屋北労働基準監督署長

57

に、毎年勅使を派遣されるそうです。橿原神宮は、神武天皇が畝傍山（うねびやま）の東南に創建したと伝わる橿原宮跡に明治時代になって創建され

2月11日は建国記念の日です

た神社です。

先日、この橿原神宮に行ってきました。最寄りの駅からまっすぐ伸びた参道には、埴輪の土産物や饅頭を売る店もあり、古代の日本に思いを馳せました。ほどなく大きな鳥居が見え、広々とした境内、そして社殿があり、清々しい気分になれました。

しかし、もつと古代を感じられるところはないかとスマホでググって、日本最古の神社と言われる奈良県桜井市の大神（おおみわ）神社に寄ってみることにしました。大神神社は、高さが467メートル、周囲は16キロメートルで、杉、松、ヒノキなどに覆われた三輪山全体が御神体のため、拝殿はあっても本殿はなく、参拝者は拝殿から奥にそびえる三輪山に手を

合わせる形になります。沢山の玉子が供えられているのが気になりましたが、伝説の蛇が好物ということに困んでいると



のことです。

それから、おみくじを引きたかったのですが、お賽銭で小銭を使い切ってしまう「現金を持たない派」の私は諦めようと思つたとき、見慣れた赤い枠に「P」の表示を見つけた。巫女さんにお願したところ、コー

ド決済の需要はあまりないようで「読み取り機にロール紙をセットしますね」と少し待たされましたが、おみくじをひくこともできました。日本最古の神社でコード決済の便利さを感じました。

帰りの小さな駅では、高齢の駅員さんが一人で改札のところにいました。そこへ「交通系ICカードのチャージの仕方が分からない」と中年男性が……。高齢の駅員さんは機械が苦手のように、「お金を入れて」と繰り返すばかりで、中年男性のお客さんは「だから分からないと言っているだろ！」と徐々にヒートアップ。他のお客さんも心配そうに見ている中、電車から降りてきた方が慣れた様子でボ

タン操作をしてくれてなるとか収まりました。

その後よく見ると、高齢の駅員さんがいた場所には「ボランティア」の表示があったので、どうもこの駅は、本当は無人駅で、高齢の駅員さんと思つた方は観光客に道案内するボランティアだったようです。それにしても、駅員のような帽子、服装で駅にいたら正規の駅員さんに思えて、中年男性も思わず頭に來たのだと思います。

便利なシステムが広がる反面、それについていけない人がいたり、いろんな働き方の人もいて……。遙か古代に思いを巡らせながら、気持ちをゆつたりと生きたいなと思つた日でした。

イラスト・木村武司